



## 2018年度決算説明資料

2019年5月20日  
SOMPOホールディングス株式会社



- SOMPOホールディングスIR・ファイナンス室長の能勢でございます。  
本日はお忙しい中、弊社電話会議にご参加いただき、ありがとうございます。
- 18年度決算および19年度業績予想に関して、数値面中心に説明させていただきます。  
なお、現中期経営計画後半の経営戦略につきましては、来週開催予定のアナリストのみなさま向け説明会において、CEOをはじめとする経営陣よりお話しいたします。
- 早速ですが、2ページをご覧ください。

|                              |    |                         |    |
|------------------------------|----|-------------------------|----|
| 業績ハイライト(2018年度)              | 2  | (参考)国内自然災害              | 26 |
| <b>1. 連結業績</b>               |    | (参考)責任準備金・支払備金          | 27 |
| 2018年度決算概況(連結)               | 4  | <b>3. 海外保険事業</b>        |    |
| 決算のポイント① 保険引受利益(損保ジャパン日本興亜)  | 5  | 業績概況(海外保険事業)            | 29 |
| 決算のポイント② 資産運用粗利益(損保ジャパン日本興亜) | 6  | 地域別業績                   | 30 |
| 決算のポイント③ 連結経常利益              | 7  | (参考)グループ会社別業績           | 31 |
| 決算のポイント④ 連結純利益               | 8  | (参考)SI業績概況①             | 32 |
| 2019年度通期業績予想(連結)             | 9  | (参考)SI業績概況②             | 33 |
| 2019年度通期業績予想のポイント            | 10 | <b>4. 国内生保事業</b>        |    |
| 通期業績予想(連結経常利益)のブレイクダウン       | 11 | 業績概況(ひまわり生命)            | 35 |
| (参考)過去の業績進捗状況                | 12 | 当期純利益(ひまわり生命)           | 36 |
| (参考)経営数値目標等                  | 13 | (参考)修正利益・修正純資産(ひまわり生命)  | 37 |
| <b>2. 国内損保事業</b>             |    | (参考)MCEV                | 38 |
| 2018年度決算概況(損保ジャパン日本興亜)       | 15 | <b>5. 介護・ヘルスケア事業等</b>   |    |
| 正味収入保険料                      | 16 | 業績概況(介護・ヘルスケア事業等)       | 40 |
| 正味損害率(リターン・ペイド)              | 17 | SOMPOケアの主要指標            | 41 |
| 正味損害率(アード・インカード)             | 18 | <b>6. ERM・資産運用</b>      |    |
| 正味事業費率                       | 19 | 財務健全性:ESR(99.5%VaR)     | 43 |
| コンバインド・レシオ                   | 20 | (参考)実質自己資本・リスク量のブレイクダウン | 44 |
| 資産運用損益                       | 21 | 資産ポートフォリオ(グループベース)      | 45 |
| (参考)資産運用粗利益の内訳               | 22 | 資産ポートフォリオ(損保ジャパン日本興亜)   | 46 |
| 2019年度通期業績予想(損保ジャパン日本興亜)     | 23 | 資産ポートフォリオ(SI)           | 47 |
| 通期業績予想の前提(損保ジャパン日本興亜)        | 24 | 資産ポートフォリオ(ひまわり生命)       | 48 |
| (参考)自動車保険関連の指標               | 25 |                         |    |

※SampoインターナショナルをSIと表記(以下同様)

- ◆ 国内自然災害影響の一方で、政策株式の売却加速などにより、連結経常利益は+570億円増益の1,989億円、連結純利益は、SIの組織再編に伴う税金費用減少等の剥落もあり、+68億円の増益にとどまって1,466億円
- ◆ 2019年度は、国内自然災害影響の平常化や海外保険事業のオーガニック成長を背景に、連結経常利益・連結純利益ともに過去最高益を見込む

### 2018年度実績

- 損保ジャパン日本興亜 ・国内自然災害影響の一方で、政策株式の売却加速を主因に、経常利益は+403億円増益、連結純利益は特殊要因剥落もあり+56億円増益
- 海外保険事業 ・北米ハリケーン影響の剥落を主因に、当期純利益は+317億円増益
- ひまわり生命 ・保険料等収入拡大に加え、責任準備金負担減などが影響し、+72億円増益
- 介護事業(SOMPOケア) ・入居率改善を背景に計画どおり増益

### 2019年度予想

- 国内自然災害影響平常化や海外のオーガニック成長を見込み、連結経常利益は+510億円増益
- 連結純利益も、+213億円増益の1,680億円と過去最高益を見込む

### 株主還元

- 6期連続増配(含19年度配当予想)および335億円の自己株式取得を決定(18年度の総還元性向72%)

### ● 今回のポイントをお示しました。

18年度は、17年度に引き続き世界的に自然災害が多発したことが、国内損保事業および海外保険事業の下押し要因となりました。一方で、損保ジャパン日本興亜では計画していた年間1,000億円ペースの政策株式売却を加速し、売却額が580億円増加したことなどにより、自然災害による下押しを一定カバーしました。結果、連結経常利益は前年比で+570億円増益の1,989億円、連結純利益は1,466億円となりました。

### ● 2019年度は、国内外の自然災害影響が平常化することなどを織り込み、連結経常利益は2,500億円、連結純利益は1,680億円と過去最高益を見込みました。

● なお、本日開示の株主還元について補足しますと、リリース文のとおり335億円の自己株式取得を決定し、18年度の総還元性向を72%としました。また、決算短信では19年度の年間配当金予想として150円をお示しました。プラス20円の増配ペースを維持しつつ、6期連続の増配となる見込みです。

### ● 4ページをご覧ください。

## 1. 連結業績

2. 国内損保事業

---

3. 海外保険事業

---

4. 国内生保事業

---

5. 介護・ヘルスケア事業等

---

6. ERM・資産運用

## 2018年度決算概況(連結)



- ◆ 国内自然災害の影響を、異常危険準備金の取崩し益や政策株式売却益などでカバー、連結経常利益は+570億円増益の1,989億円、連結純利益は+68億円増益の1,466億円



| (単位:億円)                      | 2017年度 | 2018年度 | 増減             |
|------------------------------|--------|--------|----------------|
| 連結経常収益                       | 37,700 | 36,430 | △1,270 (△3.4%) |
| 正味収入保険料                      | 28,547 | 27,181 | △1,365 (△4.8%) |
| 生命保険料                        | 3,469  | 3,496  | +26 (+0.8%)    |
| 連結経常利益                       | 1,418  | 1,989  | +570           |
| 損保ジャパン日本興亜                   | 1,752  | 2,155  | +403           |
| 海外グループ会社                     | △366   | △58    | +308           |
| ひまわり生命                       | 127    | 232    | +105           |
| 介護事業(SOMPOケア <sup>※1</sup> ) | 34     | 58     | +23            |
| その他・連結調整等 <sup>※2</sup>      | △128   | △398   | △270           |
| 連結純利益 <sup>※3</sup>          | 1,398  | 1,466  | +68            |
| 損保ジャパン日本興亜 <sup>※4</sup>     | 1,700  | 1,757  | +56            |
| 海外グループ会社                     | △378   | △61    | +317           |
| ひまわり生命                       | 81     | 153    | +72            |
| 介護事業(SOMPOケア <sup>※1</sup> ) | 29     | 43     | +13            |
| その他・連結調整等 <sup>※2</sup>      | △34    | △427   | △392           |
| (参考)修正連結利益                   | 1,627  | 1,135  | △491           |
| 国内損保事業                       | 853    | 423    | △429           |
| 海外保険事業                       | 440    | 330    | △109           |
| 国内生保事業                       | 292    | 328    | +36            |
| 介護・ヘルスケア事業等                  | 41     | 52     | +11            |

※1 2017年度は旧SOMPOケア、旧SOMPOケアネクストの合計値(以下同様)

※2 SOMPOホールディングス設立時に企業結合の会計処理として「パーチェス法」を適用したことによる売却損益等の修正を含む

※3 連結純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す(以下同様)

※4 2017年度の損保ジャパン日本興亜の特殊要因(SIの組織再編に伴う税金費用減少等)は、修正利益では海外保険事業で認識

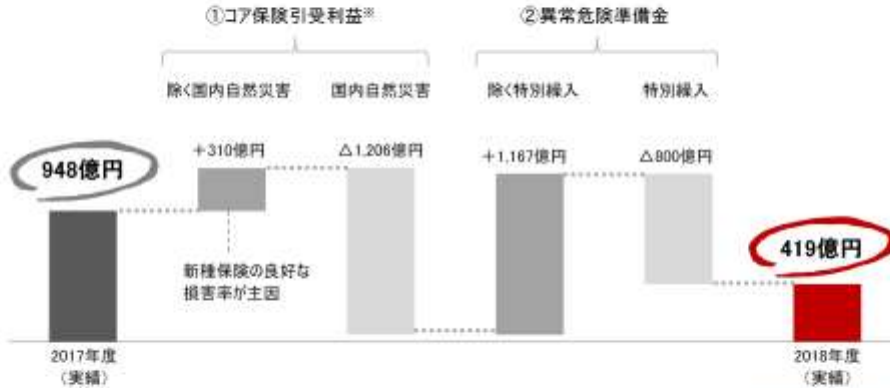
- 2018年度の決算概況を、こちらにお示しました。

- 18年度決算の主なポイントについて、次のページ以降で説明します。  
5ページをご覧ください。

## 決算のポイント① 保険引受利益(損保ジャパン日本興亜)

- ◆ 自然災害影響を除いたコア保険引受利益は堅調、異常危険準備金は800億円を特別繰入

### 保険引受利益(損保ジャパン日本興亜)の増減要因



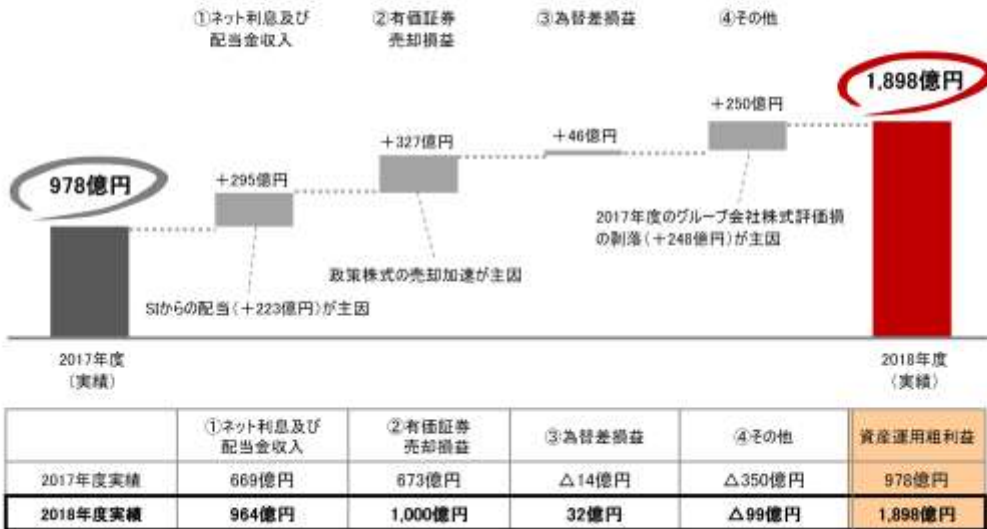
|          | ①コア保険引受利益  |          | ②異常危険準備金 |        | 保険引受利益 |
|----------|------------|----------|----------|--------|--------|
|          | (除く国内自然災害) | (国内自然災害) | (除く特別繰入) | (特別繰入) |        |
| 2017年度実績 | 768億円      | 1,340億円  | 179億円    | -      | 948億円  |
| 2018年度実績 | △127億円     | 1,651億円  | 1,347億円  | △800億円 | 419億円  |

※ コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

- 損保ジャパン日本興亜の保険引受利益です。
- 国内自然災害の影響を強く受けた一方で、自然災害影響を除くコア保険引受利益は、新種保険などが好調に推移し、前年比で+310億円となりました。
- なお、800億円の異常危険準備金特別繰入を行ったこともあり、保険引受利益全体では、前年比で△528億円減益の419億円となりました。
- 6ページをご覧ください。

◆ 政策株式の売却加速などにより、資産運用粗利益は、+919億円増益の1,898億円

### 資産運用粗利益(損保ジャパン日本興亜)の増減要因

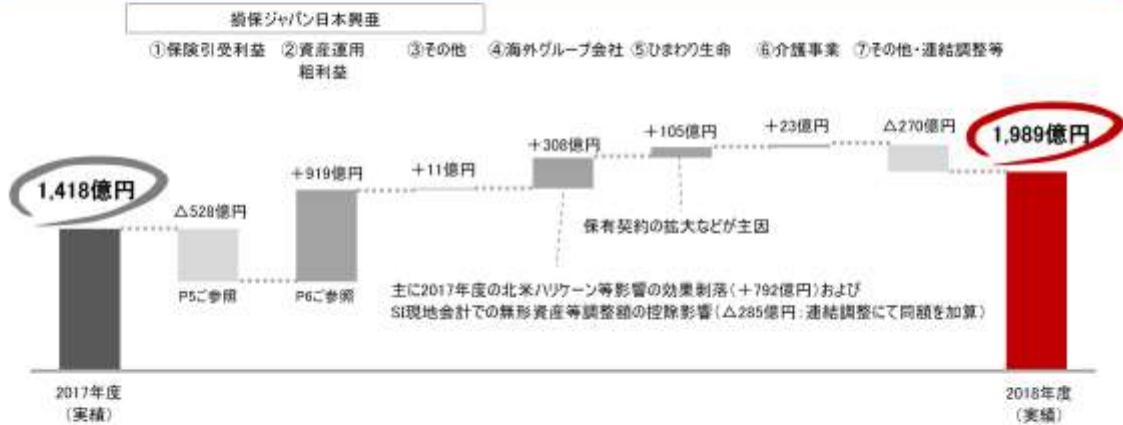


6

- 資産運用粗利益です。
- 既に業績予想に織り込んでいた要因に加えて、政策株式の売却ペースを加速したことによって、有価証券売却益が増加したことを主因に、前年比で+919億円増益の1,898億円となりました。
- 7ページをご覧ください。

- ◆ 国内自然災害の影響を異常危険準備金の取崩し益や資産運用粗利益の増益などでカバー、2017年度の北米ハリケーン影響の剥落もあり、連結経常利益は+570億円増益の1,989億円

## 連結経常利益の増減要因



|          | ①保険引受利益 | ②資産運用粗利益 | ③その他   | ④海外グループ会社 | ⑤ひまわり生命 | ⑥介護事業 | ⑦その他・連結調整等 | 連結経常利益  |
|----------|---------|----------|--------|-----------|---------|-------|------------|---------|
| 2017年度実績 | 948億円   | 978億円    | △174億円 | △366億円    | 127億円   | 34億円  | △128億円     | 1,418億円 |
| 2018年度実績 | 419億円   | 1,898億円  | △162億円 | △58億円     | 232億円   | 58億円  | △396億円※    | 1,989億円 |

※ 2018年度のSIに係るのれん・無形固定資産等償却額(税前)は257億円

- 連結経常利益です。
- これまでのページでご説明した損保ジャパン日本興亜の保険引受利益および資産運用粗利益以外で、海外グループ会社において、17年度の北米ハリケーン等の影響が剥落したことや、ひまわり生命で保有契約が順調に拡大したことなどから、連結経常利益は、前年比で+570億円増益の1,989億円となりました。
- 8ページをご覧ください。



## ◆ 連結純利益は、+68億円増益の1,466億円

## 連結純利益の増減要因

①損保ジャパン日本興亜 ②海外グループ会社 ③ひまわり生命 ④介護事業 ⑤その他・連結調整等



|          | ①損保ジャパン<br>日本興亜 | ②海外グループ会社 | ③ひまわり生命 | ④介護事業 | ⑤その他・<br>連結調整等 | 連結純利益   |
|----------|-----------------|-----------|---------|-------|----------------|---------|
| 2017年度実績 | 1,700億円         | △378億円    | 81億円    | 29億円  | △34億円          | 1,398億円 |
| 2018年度実績 | 1,757億円         | △61億円     | 153億円   | 43億円  | △427億円         | 1,466億円 |

●連結純利益です。

●特殊な要因として、損保ジャパン日本興亜において、固定資産売却に伴う処分益を計上した一方、17年度に認識したSompoインターナショナルの組織再編に伴う税金費用減少等のプラス影響72億円が剥落したため、結果として、連結純利益は前年比で+68億円の1,466億円となりました。

●9ページをご覧ください。

## 2019年度通期業績予想(連結)



| (単位:億円)          | 2018年度<br>(実績) | 2019年度<br>(予想) | 増減             |
|------------------|----------------|----------------|----------------|
| 正味収入保険料          | 27,181         | 28,200         | +1,018 (+3.7%) |
| 生命保険料            | 3,496          | 3,630          | +133 (+3.8%)   |
| 連結経常利益           | 1,989          | 2,500          | +510           |
| 損保ジャパン日本興亜       | 2,155          | 2,260          | +104           |
| 海外グループ会社         | △58            | 685            | +743           |
| ひまわり生命           | 232            | 242            | +9             |
| 介護事業(SOMPOケア)    | 58             | 71             | +12            |
| その他・連結調整等        | △398           | △758           | △359           |
| 連結純利益            | 1,466          | 1,680          | +213 (+14.6%)  |
| 損保ジャパン日本興亜       | 1,757          | 1,630          | △127           |
| 海外グループ会社         | △61            | 583            | +644           |
| ひまわり生命           | 153            | 160            | +6             |
| 介護事業(SOMPOケア)    | 43             | 43             | △0             |
| その他・連結調整等        | △427           | △737           | △310           |
| 1株あたり連結純利益(単位:円) | 392            | 451            | +58            |
| (参考)修正連結利益       | 1,135          | 1,850          | +714 (+62.9%)  |
| 国内損保事業           | 423            | 865            | +441           |
| 海外保険事業           | 330            | 590            | +259           |
| 国内生保事業           | 328            | 340            | +11            |
| 介護・ヘルスケア事業等      | 52             | 55             | +2             |
| 1株あたり修正利益(単位:円)  | 303            | 496            | +192 (+63.5%)  |

- 19年度の業績予想です。
- 連結経常利益は+510億円増益の2,500億円、  
連結純利益は+213億円増益の1,680億円と過去最高益を見込みます。
- 19年度の業績予想の主なポイントについて、次のページでご説明します。  
10ページをご覧ください。

- ◆ 消費増税などはあるものの、各事業のオーガニック成長に加え、国内外自然災害の平常化などにより、連結経常利益は+510億円増益の2,500億円、連結純利益は1,680億円と過去最高益を見込む
- ◆ 株主還元原資となる修正連結利益は、+714億円増益の1,850億円を見込む

**損保ジャパン  
日本興亜**

- 消費増税などの一方で、異常危険準備金特別繰入影響の剥落や、商品改定による収益性の向上などにより、保険引受利益は+560億円の増益を見込む
- 政策株式は1,000億円程度の削減を継続
- 資産運用粗利益は、有価証券売却益の減少により、△466億円の減益を見込む
- これらの結果、経常利益は+104億円増益の2,260億円、当期純利益は、2018年度の特種要因の剥落もあり、△127億円減益の1,630億円を計画

**海外保険事業**

- 海外自然災害影響の平常化およびSIIにおける元受中心としたオーガニック成長を実現することなどにより、当期純利益は+644億円増益の583億円を見込む

**ひまわり生命**

- +2%台での保険料等収入拡大を背景に、経常利益・当期純利益とも増益の見込み

**介護事業**

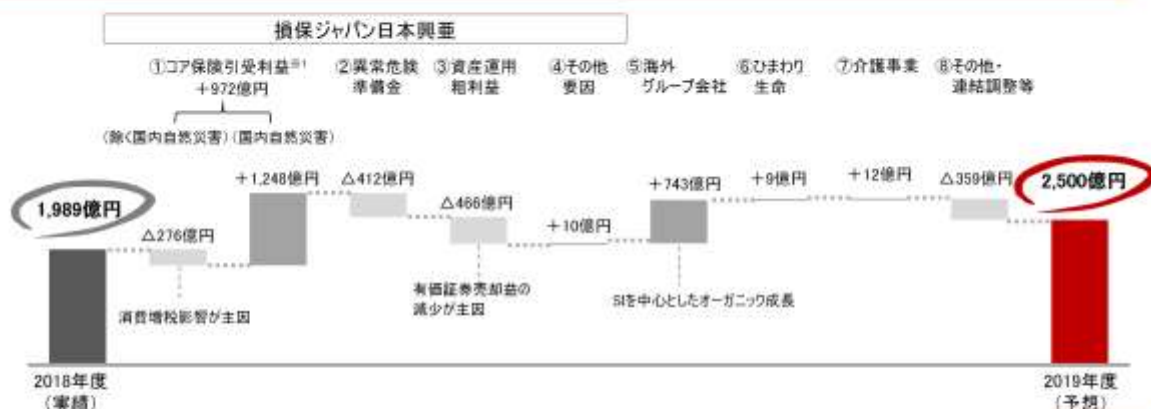
- 入居率の改善傾向継続を想定

- 19年度の業績予想のポイントです。
- 消費増税によるマイナス影響を見込む一方で、国内外の自然災害影響は平年程度への減少を見込みます。加えて、損保ジャパン日本興亜では、異常危険準備金特別繰入影響の剥落や、商品改定による収益性の向上による保険引受利益の増益、その他事業でも着実なオーガニック成長を実現することなどを織り込んでいます。
- 11ページに連結経常利益のブレークダウン、12ページに過去5年の業績進捗率、13ページに修正利益ベースの経営数値目標等をお示ししましたので、ご参考にしていただければと思います。15ページをご覧ください。

## 通期業績予想(連結経常利益)のブレイクダウン



## 連結経常利益の主要構成要素



|          | ①コア保険引受利益 <sup>※1</sup> |          | ②異常危険準備金 | ③資産運用相利益 | ④その他要因 | ⑤海外グループ会社           | ⑥ひまわり生命 | ⑦介護事業 | ⑧その他・連結調整等           | 連結経常利益  |
|----------|-------------------------|----------|----------|----------|--------|---------------------|---------|-------|----------------------|---------|
|          | (除く国内自然災害)              | (国内自然災害) |          |          |        |                     |         |       |                      |         |
| 2018年度実績 | 1,651億円                 | △1,778億円 | 547億円    | 1,898億円  | △162億円 | △58億円               | 232億円   | 58億円  | △398億円               | 1,989億円 |
| 2019年度予想 | 1,374億円                 | △530億円   | 135億円    | 1,431億円  | △151億円 | 685億円 <sup>※2</sup> | 242億円   | 71億円  | △758億円 <sup>※2</sup> | 2,500億円 |

※1 コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

※2 SI買収に伴うのれんは1,513百万ドル、無形固定資産を合わせた正味償却対象額は2,000百万ドル程度(買収時点)、のれんは10年、無形固定資産は適切な償却期間を設定、2019年度予想における正味償却対象額は242億円の見込み  
SIの会計制度変更により、2019年度以降、SIの現地会計での無形資産等調整にかかる処理は行わない

## 四半期の進捗率(連結純利益)



## 計画数値

| (単位:億円)                     | 2017年度       |              | 2018年度        |              | 2019年度        |  |
|-----------------------------|--------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--|
|                             | (実績)         | (実績)         | 対前年<br>増減     | (予想)         | 対前年<br>増減     |  |
| 国内損保事業                      | 853          | 423          | △429          | 865          | +441          |  |
| 海外保険事業                      | 440          | 330          | △109          | 590          | +259          |  |
| 国内生保事業                      | 292          | 328          | +36           | 340          | +11           |  |
| 介護・ヘルスケア事業等                 | 41           | 52           | +11           | 55           | +2            |  |
| <b>合計(修正連結利益)</b>           | <b>1,627</b> | <b>1,135</b> | <b>△491</b>   | <b>1,850</b> | <b>+714</b>   |  |
| <b>修正連結ROE<sup>※2</sup></b> | <b>8.4%</b>  | <b>4.5%</b>  | <b>△1.9pt</b> | <b>7.5%</b>  | <b>+3.0pt</b> |  |
| 連結純利益(J-GAAPベース)            | 1,398        | 1,466        | +68           | 1,680        | +213          |  |
| ROE(J-GAAPベース)              | 7.8%         | 8.0%         | +0.5pt        | 9.5%         | +1.4pt        |  |

※1 事業部門別修正利益は、一過性の損益またはグループ会社配当等の特殊要因を除く

※2 修正連結ROE＝修正連結利益÷修正連結純資産(分母は、期首・期末の平均残高)

修正連結純資産＝連結純資産(除く国内生保事業純資産)＋国内損保事業異常危険準備金等(税引後)＋国内損保事業価格変動準備金(税引後)＋国内生保事業修正純資産  
国内生保事業修正純資産＝国内生保事業純資産(J-GAAP)＋危険準備金(税引後)＋価格変動準備金(税引後)＋責任準備金補正(税引後)＋未償却新契約費(税引後)

※3 SIIのOperating Income＝当期純利益－為替損益－有価証券売却・評価損益－減損損失など

海外保険事業の2017年度(実績)には、SIIの組織再編に伴う税金費用減少等を含む

修正連結利益<sup>※1</sup>の定義

## 国内損保事業

当期純利益

+異常危険準備金繰入額等(税引後)  
+価格変動準備金繰入額(税引後)  
-有価証券の売却損益・評価損(税引後)

## 海外保険事業

当期純利益(主な非連結子会社含む)

なお、SIIのみOperating Income<sup>※3</sup>

## 国内生保事業

当期純利益

+危険準備金繰入額(税引後)  
+価格変動準備金繰入額(税引後)  
+責任準備金補正(税引後)  
+新契約費繰延(税引後)  
-新契約費償却(税引後)

## 介護・ヘルスケア事業等

当期純利益

---

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

---

4. 国内生保事業

---

5. 介護・ヘルスケア事業等

---

6. ERM・資産運用

- ◆ 経常利益は、自然災害影響を政策株式売却益でカバーし、+403億円増益の2,155億円
- ◆ 異常危険準備金について、800億円の特別繰入を実施

| (単位: 億円)            | 2017年度 | 2018年度 | 増減           |
|---------------------|--------|--------|--------------|
| 正味収入保険料             | 21,680 | 21,486 | △193 (△0.9%) |
| (除く自賠責・家計地震)        | 18,760 | 18,698 | △61 (△0.3%)  |
| 既経過保険料(除く自賠責・家計地震)  | 18,821 | 18,692 | △128 (△0.7%) |
| 正味損害率               | 64.4%  | 69.8%  | +5.4pt       |
| (除く自賠責・家計地震)        | 62.0%  | 68.0%  | +6.1pt       |
| E/I損害率(除く自賠責・家計地震)  | 61.7%  | 67.2%  | +5.5pt       |
| 正味事業費率              | 32.3%  | 32.1%  | △0.2pt       |
| (除く自賠責・家計地震)        | 34.0%  | 33.6%  | △0.4pt       |
| コンバインド・レシオ          | 96.7%  | 101.9% | +5.2pt       |
| (除く自賠責・家計地震)        | 95.9%  | 101.6% | +5.7pt       |
| 保険引受利益              | 948    | 419    | △528         |
| 資産運用相利益             | 978    | 1,898  | +919         |
| 経常利益                | 1,752  | 2,155  | +403         |
| 当期純利益               | 1,700  | 1,757  | +56          |
| (参考)                |        |        |              |
| 修正利益                |        |        |              |
| + 異常危険準備金繰入額等(税引後)  | △128   | △392   | △263         |
| + 価格変動準備金繰入額(税引後)   | 75     | 28     | △46          |
| - 有価証券売却損益・毀損損(税引後) | 291    | 686    | +394         |
| - 特殊要因(税引後)※        | 476    | 239    | △237         |
| 修正利益                | 878    | 467    | △410         |

国内自然災害影響(△1,206億円)の一方で、異常危険準備金を取崩(+387億円)  
政策株式の売却加速が主因  
2017年度のSIの組織再編に伴う税金費用減少等の影響制落

※ SIの組織再編に伴う税金費用減少等、グループ会社配当、株式先物関連損益など

- ここから、損保ジャパン日本興亜の決算概況をご確認いただきます。  
それぞれの項目について、次のページ以降でご説明します。
- 16ページをご覧ください。



- ◆ 一過性要因(海外受再契約のSIへの移管影響)を除くと、新種保険の拡大などで増収
- ◆ 自動車保険は、2018年1月の料率改定影響を2019年1月の商品改定でカバーし、直近は増収トレンド

## 種目別正味収入保険料

| (単位:億円)        | 2017年度 | 2018年度 | 増減           | 2019年度<br>(予想) |
|----------------|--------|--------|--------------|----------------|
| 火災             | 2,817  | 2,650  | △166 (△5.9%) | 2,752          |
| 海上             | 473    | 443    | △30 (△6.5%)  | 474            |
| 傷害             | 1,799  | 1,707  | △92 (△5.1%)  | 1,682          |
| 自動車            | 10,785 | 10,731 | △54 (△0.5%)  | 10,849         |
| 自賠責            | 2,913  | 2,781  | △131 (△4.5%) | 2,787          |
| その他            | 2,890  | 3,172  | +281 (+9.7%) | 3,173          |
| うち賠償責任         | 1,574  | 1,692  | +117 (+7.5%) | 1,694          |
| 合計             | 21,680 | 21,486 | △193 (△0.9%) | 21,720         |
| 合計(除く自賠責・家計地震) | 18,760 | 18,698 | △61 (△0.3%)  | 18,926         |

(参考) 自動車保険の台数・単価・保険料  
対前年同期比(2018年4月~2019年3月)

|        | 台数    | 単価    | 保険料   |
|--------|-------|-------|-------|
| ノンフリート | △0.4% | △0.2% | △0.6% |
| フリート   | +2.0% | △0.9% | +1.1% |
| 合計     | +0.1% | △0.4% | △0.3% |

(営業成績保険料ベース)



## (主な増減要因)

- 火災: 海外受再契約をSIへ移管したことが減収の主因  
 傷害: 主に一部商品をその他種目へ移管した影響によるもの  
 自動車: 2018年1月の料率改定(自動車保険全体で△1.7%)影響を2019年1月の商品改定でカバー  
 その他: 中小企業向けパッケージ商品や賠償責任保険の販売が好調

- 正味収入保険料です。
- 海外受再契約をSompoインターナショナルに移管した影響で、正味収入保険料は全体として減収となっています。  
この影響を除くと、新種保険が牽引し、順調に拡大しました。
- また、主力の自動車保険についても、2018年1月の料率改定による下押し影響を、2019年1月の商品改定によって相殺し、前年比で小幅な減収に留めました。
- 17ページをご覧ください。

- ◆ 平年を上回る国内自然災害に加え、大口事故の支払が進み、2018年度の正味損害率は上昇
- ◆ 2019年度は、増税影響に加え、国内自然災害影響や自動車保険の修理費単価などを保守的に見込む

### 正味損害率の推移



(参考)種目別正味損害率

|                | 2018年度 |         |
|----------------|--------|---------|
|                | 損害率    | 対前年増減   |
| 火災(除く家計地震)     | 106.0% | +32.5pt |
| 海上             | 80.2%  | +15.9pt |
| 傷害             | 56.8%  | +0.2pt  |
| 自動車            | 62.2%  | +0.8pt  |
| その他            | 60.3%  | +4.8pt  |
| 合計(除く自賠責・家計地震) | 68.0%  | +6.1pt  |

17

- リトン損害率です。
- 火災保険を中心に、国内自然災害の影響を受けたことに加え、17年度の大口径事故の支払が進んだことなどが、損害率上昇の主因となります。  
2019年度は、消費増税影響に加え、国内自然災害の影響や自動車保険の修理費単価などを保守的に見込みました。
- 18ページをご覧ください。

◆ 2018年度の正味損害率は、国内自然災害影響を除くと△0.4pt改善

### E/I損害率の推移



(参考)種目別E/I損害率

|                | 2018年度 |         |
|----------------|--------|---------|
|                | 損害率    | 対前年増減   |
| 火災(除く家計地震)     | 101.5% | +32.4pt |
| 海上             | 83.7%  | +23.6pt |
| 傷害             | 53.2%  | △3.1pt  |
| 自動車            | 61.5%  | +1.1pt  |
| その他            | 61.0%  | △1.5pt  |
| 合計(除く自賠責・家計地震) | 67.2%  | +5.5pt  |

- アード・インカードベースの損害率です。
- リトン損害率同様、国内自然災害の影響により、損害率は上昇しました。  
自然災害影響を除くと、新種保険を中心に損害率が改善したことから、  
2018年度の自賠責・家計地震・自然災害を除くベースの損害率は0.4pt改善しました。
- 19ページをご覧ください。

◆ 事業費は、社費を中心に計画どおりコントロール

事業費率(除く自賠責・家計地震)の推移



社費率\*(除く自賠責・家計地震)の推移



\* 保険引受に係る営業費および一般管理費の正味収入保険料に対する比率

- 事業費率です。
- 社費を中心に計画どおりコントロールできており、2019年度も継続する方針です。
- コンバインド・レシオについては、20ページにお示しました。  
21ページをご覧ください。

◆ 2018年度のコンバインド・レシオ(除く自賠責・家計地震)は101.6%、2019年度は96.5%を見込む

コンバインド・レシオの推移(除く自賠責・家計地震)



(参考) 除く自賠責・家計地震・自然災害



- ◆ 有価証券売却益増加とSIからの配当を主因に、資産運用粗利益は+919億円増益の1,898億円
- ◆ 2018年度の政策株式削減は1,580億円と、計画(1,000億円前後)を大幅に超過

## 資産運用粗利益(損保ジャパン日本興亜単体)

| (単位: 億円)               |   | 2017年度 | 2018年度 | 増減   | 2019年度<br>(予想) |
|------------------------|---|--------|--------|------|----------------|
| ネット利息及び配当金収入           | ① | 669    | 964    | +295 | 915            |
| 利息及び配当金収入 <sup>※</sup> |   | 1,062  | 1,346  | +284 | 1,281          |
| (うち海外グループ会社配当金)        |   | 8      | 231    | +223 | 237            |
| 有価証券売却損益 <sup>※</sup>  | ② | 673    | 1,000  | +327 | 595            |
| (うち国内株式)               |   | 776    | 1,012  | +235 | 570            |
| 有価証券評価損 <sup>※</sup>   | ③ | △267   | △48    | +218 | △10            |
| (うち国内株式)               |   | △130   | △32    | +97  | △10            |
| 金融派生商品損益               | ④ | △113   | △64    | +48  | △105           |
| その他損益                  | ⑤ | 15     | 45     | +29  | 37             |
| 資産運用粗利益 (①~⑤計)         |   | 978    | 1,898  | +919 | 1,431          |

※ 内訳は次ページご参照

主に2017年度のグループ会社株式  
評価損の剥落(+248億円)

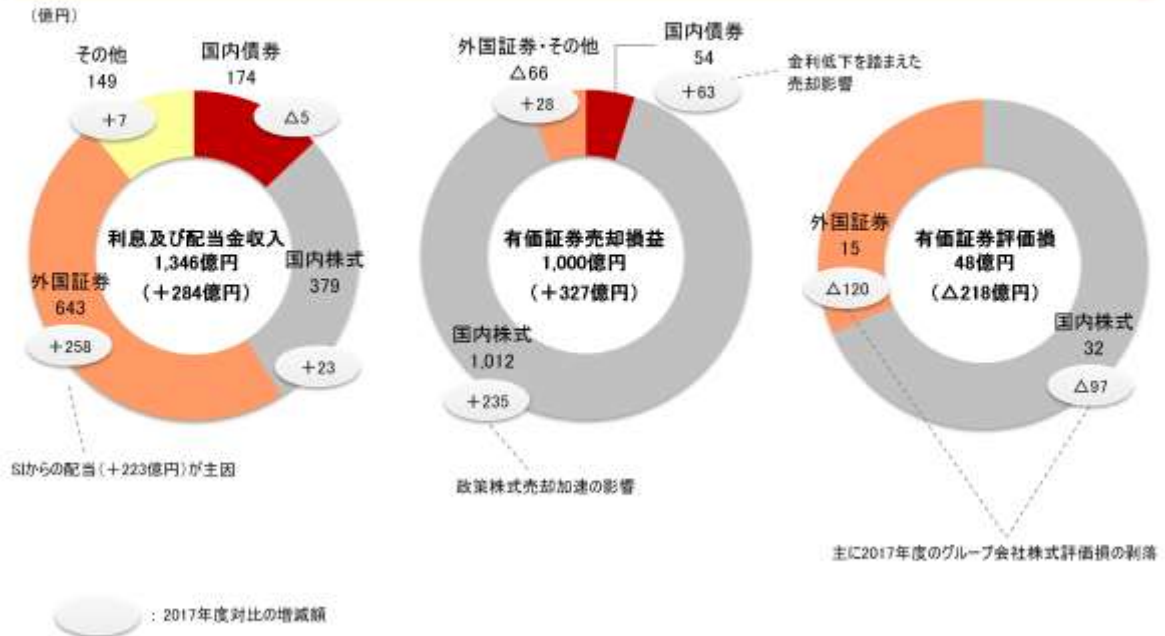
政策株式削減額

1,580億円

時価ベースのネット削減額  
(売却時価-購入時価)

- 資産運用粗利益です。
- 2018年度については先ほどご説明の通りです。なお、利配収入については、連結消去されるSompoインターナショナルからの配当金収入を除いたベースの利配収入も堅調に推移しました。
- 2019年度は、18年度の政策株式売却額増加の影響剥落を主因に、1,431億円を見込みます。
- なお、2018年度の利配収入、売却損益、評価損益の詳細は、次のページでご確認ください。23ページをご覧ください。

利息及び配当金収入・有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳(2018年度)



## 2019年度通期業績予想(損保ジャパン日本興亜)



| (単位:億円)             | 2018年度<br>(実績) | 2019年度<br>(予想) | 増減             |
|---------------------|----------------|----------------|----------------|
| 正味収入保険料             | 21,486         | 21,720         | +233 (+1.1%)   |
| (除く自賠責・家計地震)        | 18,698         | 18,926         | +227 (+1.2%)   |
| 既経過保険料(除く自賠責・家計地震)  | 18,692         | 18,855         | +162 (+0.9%)   |
| 正味損害率               | 69.8%          | 65.0%          | △4.8pt         |
| (除く自賠責・家計地震)        | 68.0%          | 63.0%          | △5.0pt         |
| E/I損害率(除く自賠責・家計地震)  | 67.2%          | 61.7%          | △5.5pt         |
| 正味事業費率              | 32.1%          | 32.0%          | △0.1pt         |
| (除く自賠責・家計地震)        | 33.6%          | 33.5%          | △0.1pt         |
| コンバインド・レシオ          | 101.9%         | 97.1%          | △4.8pt         |
| (除く自賠責・家計地震)        | 101.6%         | 96.5%          | △5.1pt         |
| 保険引受利益              | 419            | 980            | +560 (+133.4%) |
| 資産運用粗利益             | 1,898          | 1,431          | △466 (△24.6%)  |
| 経常利益                | 2,155          | 2,260          | +104 (+4.9%)   |
| 当期純利益               | 1,757          | 1,630          | △127 (△7.2%)   |
| (参考)                |                |                |                |
| 修正利益                |                |                |                |
| +)異常危険準備金繰入額等(税引後)  | △392           | △94            | +297           |
| +)価格変動準備金繰入額(税引後)   | 28             | 29             | +0             |
| -)有価証券売却損益・評価損(税引後) | 686            | 421            | △264           |
| -)特殊要因(税引後)*        | 239            | 223            | △15            |
| 修正利益                | 467            | 918            | +450 (+96.4%)  |

\* 株式会社先物関連損益、グループ会社配当等

● 損保ジャパン日本興亜の業績予想の一覧です。

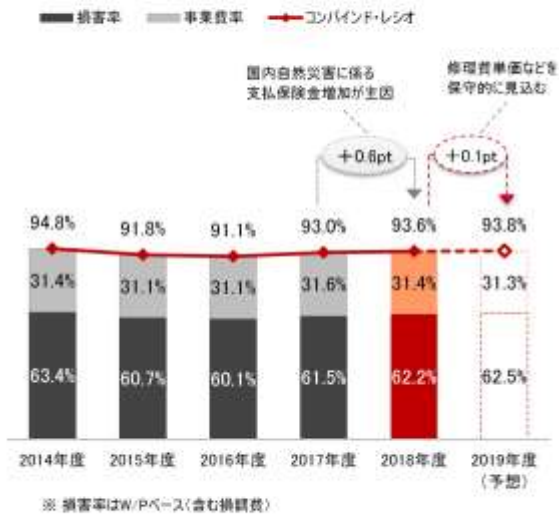
次の24ページには、当該予想の前提を、25ページには自動車保険関係のデータを掲載していますので、併せてご覧ください。

● 26ページをご覧ください。



|                   |   |
|-------------------|---|
| 国内自然災害<br>(当年度発生) | 530億円   |
| 異常危険準備金           | 135億円の取り崩し(ネット)<br>(火災:139億円の取り崩し、自動車:38億円の取り崩し)  |
| 異常危険準備金繰入率        | 火災グループ繰入率 火災:15.0%、火災以外:6.0%<br>自動車グループの繰入率:3.2%  |
| 資産運用              | <株価> 日経平均:21,205円<br><金利> 10年物日本国債:△0.08%<br><為替> ドル円:110.99円、ユーロ円:124.56円<br>※ マーケットの前提は2019年3月末の水準を想定 |
| 利息及び配当金収入         | グロス:1,281億円 ネット:915億円   |
| 有価証券キャピタル損益       | 有価証券売却益:595億円<br>有価証券評価損:10億円   |
| 価格変動準備金           | 40億円の繰入れ(ネット)   |

### コンバインド・レシオの推移

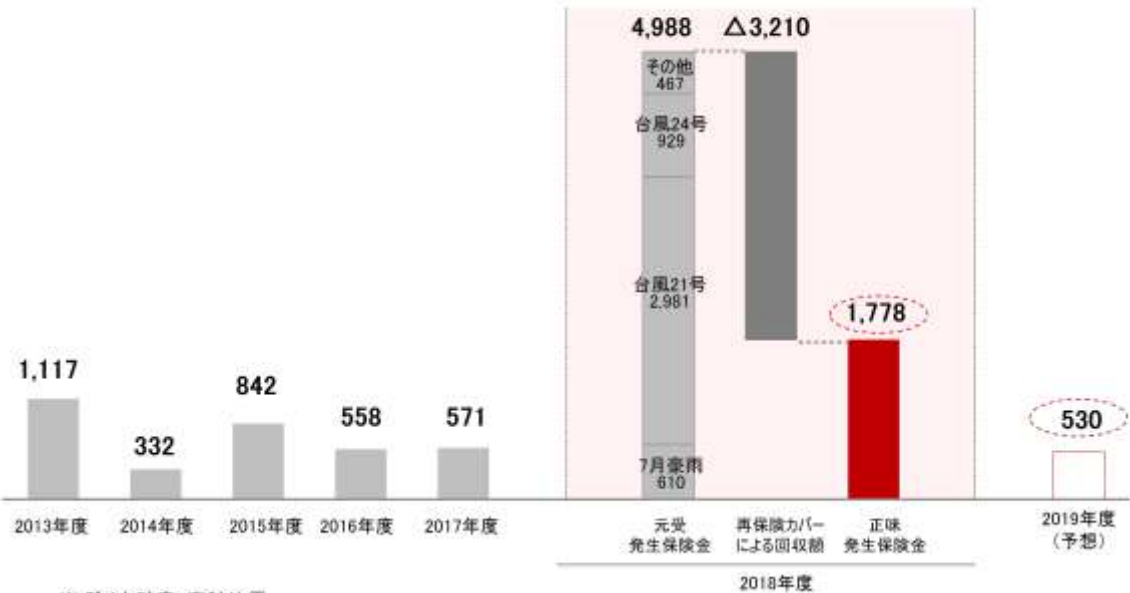


### 事故受付件数の推移



## 国内自然災害の正味発生損害(当年度発生)

(億円)



※ 除く自賠責・家計地震

26

## ●国内自然災害の状況について、補足します。

2018年度は台風21号など大規模な自然災害が複数発生した影響で、元受ベースでは4,988億円の発生保険金となりましたが、再保険による回収もあり、正味発生保険金は1,778億円と、2018年11月にお示しした予想と概ね同水準となりました。

## ●2019年については、直近の自然災害などの発生状況などを踏まえ、18年度の期初予想の前提から50億円増額し、530億円で見込みました。

## ●次のページは準備金等の参考データです。29ページをご覧ください。

責任準備金・支払備金(2018年度)

| (単位:億円)             | 普通責任準備金 <sup>※1</sup> |      | 異常危険準備金      |      | 支払備金  |      |
|---------------------|-----------------------|------|--------------|------|-------|------|
|                     | 残高                    | 積増額  | 残高           | 積増額  | 残高    | 積増額  |
| 火災 <sup>※2※3</sup>  | 7,176                 | △194 | 1,351        | △207 | 1,239 | +42  |
| 海上                  | 147                   | △57  | 437          | △58  | 265   | +27  |
| 傷害                  | 1,256                 | +6   | 694          | △11  | 582   | △65  |
| 自動車                 | 3,143                 | +25  | 390          | △210 | 3,895 | △90  |
| 自賠責 <sup>※2</sup>   | 4,388                 | +94  | -            | -    | 740   | △63  |
| その他                 | 3,406                 | +177 | 2,041        | △59  | 2,133 | △67  |
| 合計                  | 19,518                | +51  | 4,915        | △547 | 8,857 | △217 |
| 合計(除く自賠責・家計地震)      | 15,074                | △8   | 4,915        | △547 | 8,116 | △153 |
|                     | 残高                    | 積増額  |              |      | 積増額   |      |
| 長期性資産 <sup>※4</sup> | 12,966                | △693 | 外貨建支払備金の為替影響 |      | +7    |      |

※1 積立保険以外に係る私戻積立金を含む

※2 地震保険および自賠責保険に係る責任準備金は普通責任準備金に含む

※3 異常危険準備金残高は特別繰入(800億円)を含む

※4 私戻積立金と契約者配当金として積み立てられている積立保険の収入積立保険料とその運用益の累積残

---

1. 連結業績

---

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

---

5. 介護・ヘルスケア事業等

---

6. ERM・資産運用

◆ 2017年度の一過性要因の剥落や、自然災害影響などにより、修正利益は△109億円減益の330億円

修正利益※



(参考)収入保険料※



※ 収入保険料は、持分割合を反映した数値を記載しており、連結財務諸表とは基準が異なる。修正利益は、持分割合の反映などの調整を行っている  
Sompoキャノピラスの2017年度収入保険料は1,297億円、同修正利益は△268億円、同社売却完了に伴い2018年度は影響剥落

- 海外保険事業です。
- 2018年度の修正利益は、109億円減益の330億円となりました。  
17年度に計上したSompoインターナショナルの組織再編に伴う税金費用減少等のプラス影響(724億円)が剥落したことが減益の主因です。  
この影響を除くと、17年度に発生した北米ハリケーン等の影響が剥落したことや、Sompoインターナショナルを中心としたオーガニック成長などにより、大幅な増益となりました。
- 2019年度の修正利益は、前年比+259億円増益の590億円を見込みます。  
米国元受、スペシャルティ保険を中心に着実に利益成長することなどを織り込んでいます。
- 30ページに地域別のブレークダウンを、  
31ページにグループ会社別のポイントを掲載していますので、後ほどご覧ください。
- 32ページをご覧ください。

◆ ボトムラインは南米で増益、欧米は組織再編に伴う税金費用減少等の剥落もあり減益

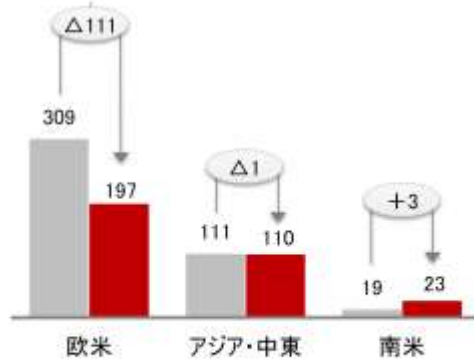
修正利益(地域別)

収入保険料(地域別)

(億円) 2017年度 2018年度

(億円) 2017年度 2018年度

主に、2017年度のSIOの組織再編に伴う税金費用減少等の影響剥落(△724億円)による



Sompoキヤノピラス貢献剥落が主因



(参考)グループ会社別業績



| (単位:億円)                 |                     | 収入保険料          |        | 修正利益           |                | ポイント | (参考)為替レート |  |
|-------------------------|---------------------|----------------|--------|----------------|----------------|------|-----------|--|
|                         |                     | 2018年度<br>(実績) | 増減     | 2019年度<br>(予想) | 2018年度<br>(実績) |      | 増減        | 2019年度<br>(予想)   |
| 欧米                      | SI <sup>※1</sup>    | 3,684          | +420   | 4,306          | 197            | △380 | 457       | ※P32、P33ご参照<br>111.00<br>円/米ドル (△1.8%)   |
| アジア・<br>中東              | SJNソングク<br>(トルコ)    | 319            | △135   | 343            | 68             | △14  | 71        | 18年度はリウ安の影響を受けるも、ベースのビジネスは堅調。<br>19年度は高収益種目の拡大や運用収益増などを見込む<br>20.97<br>円/リラ (△29.9%) |
|                         | Sompo<br>シンガポール     | 75             | +2     | 79             | 4              | △7   | 6         | 18年度は自動車保険を中心に損害率の改善を見込む<br>81.00<br>円/SGドル (△4.1%)                                  |
|                         | ベルジャヤソノボ<br>(マレーシア) | 139            | +20    | 152            | 11             | +1   | 14        | 18年度は損害率が良好に推移。<br>19年度は引き続きCMB比の改善強化を見込む<br>26.68<br>円/リンギット (△4.0%)                |
|                         | Sompo<br>インドネシア     | 65             | +9     | 98             | 1              | +2   | 5         | 19年度は経費率改善を見込む<br>0.0077<br>円/ルピア (△8.3%)  |
|                         | Sompo中国<br>NK中国     | 53             | △3     | 55             | 9              | +11  | 4         | 18年度は大口事故が計画を下回りボトムラインは好調<br>16.16<br>円/人民元 (△6.5%)                                  |
|                         | Sompo香港             | 38             | +5     | 35             | 5              | △0   | 4         | 18年度は損害率が良好に推移<br>14.18<br>円/香港ドル (△1.9%)  |
|                         | ユニバーサルソノボ<br>(インド)  | 65             | +6     | 84             | 6              | △5   | 3         | 概ね計画どおり<br>1.61<br>円/ルピー (△2.4%)   |
| 南米                      | Sompoセグロス<br>(ブラジル) | 796            | △187   | 692            | 23             | +3   | 20        | 18年度は引受基準厳格化が奏功し損害率が改善<br>19年度は運用収益を保守的に見込む<br>28.64<br>円/レアル (△16.0%)               |
| 上記以外(非連結) <sup>※2</sup> |                     | 36             | △17    | 30             | 2              | +9   | 2         | —  |
| 合計 <sup>※3</sup>        |                     | 5,276          | △1,179 | 6,079          | 330            | △109 | 590       | —  |

※1 旧Sompoアメリカ、旧Sompoメキシコ、旧SJNKヨーロッパを含む(以下同様)  
 ※2 Sompoタイランド、PGAソノボ(フィリピン)、ユニテッドインシュアランス(ベトナム)の合計  
 ※3 2017年度にはSompoキャノピアスの収入保険料1,297億円、同修正利益△268億円を含む  
 ※4 ユニバーサルソノボの為替レートは2019年3月末時点、通期業績予想における前提為替レートは2019年3月末時点を使用



修正利益の増減要因(2018年度実績)

修正利益の増減要因(2019年度予想)



既経過保険料の推移

主要セグメント別損害率



- 海外の最大グループ会社であるSompoインターナショナルの業績に関して補足します。なお、数値は米ドルベースでお示ししています。
- トップラインは、マーケットのハード化の状況を踏まえ、2018年11月に見通しを調整しましたが、スペシャルティ保険を中心に順調に契約が拡大し、通期予想を上回りました。  
修正利益については、先ほど説明の組織再編に伴う税金費用減少等の影響剥落以外の要素として、17年度に引き続き18年度についても、世界的に自然災害が多発した影響を受けました。  
一方で、自然災害の影響を受けにくいスペシャルティ保険などの損害率は通期予想より改善しており、順調です。
- 19年度は、引き続き、元受事業を中心とした着実なオーガニック成長に加え、自然災害影響の平常化などにより、増益を見込んでいます。
- 次のページに、Sompoインターナショナルの数値データを参考掲載していますので、後ほどご確認ください。35ページをご覧ください。

| (単位:百万ドル)                | 2017年度 | 2018年度 |         | 2019年度 |                        |
|--------------------------|--------|--------|---------|--------|------------------------|
|                          | (実績)   | (実績)   | 対前年増減   | (予想)   | 対前年増減                  |
| グロス保険料                   | 5,281  | 5,960  | +679    | 6,477  | +516                   |
| 正味保険料                    | 2,888  | 3,319  | +431    | 3,879  | +560                   |
| 既経過保険料                   | 2,719  | 3,086  | +366    | 3,605  | +518                   |
| 発生保険金                    | 2,211  | 2,114  | △96     | 2,262  | +147                   |
| 事業費 <sup>※1</sup>        | 879    | 952    | +73     | 1,108  | +155                   |
| 損害率 <sup>※1</sup>        | 81.3%  | 68.5%  | △12.8pt | 62.8%  | △5.8pt → 自然災害影響平常化を見込む |
| 事業費率 <sup>※1</sup>       | 32.3%  | 30.9%  | △1.5pt  | 30.7%  | △0.1pt                 |
| コンバインド・レシオ <sup>※1</sup> | 113.6% | 99.4%  | △14.2pt | 93.5%  | △5.9pt                 |
| 保険引受利益                   | △428   | 24     | +453    | 245    | +220                   |
| 資産運用利益                   | 263    | 244    | △19     | 300    | +56                    |
| 当期純利益(優先株式配当控除後)         | △195   | 72     | +267    | 412    | +340                   |
| (参考) 修正利益                |        |        |         |        |                        |
| +) 為替換益                  | +11    | △15    | △26     | -      | +15                    |
| +) 有価証券売却・減損損失等          | △29    | +123   | +152    | -      | △123                   |
| +) 税効果                   | △13    | △1     | +12     | -      | +1                     |
| +) 買収時一時コスト              | +56    | -      | △56     | -      | -                      |
| オペレーティングインカム             | △170   | 177    | +348    | 412    | +234                   |
| +) その他 <sup>※3</sup>     | +681   | -      | △681    | -      | -                      |
| 修正利益                     | 511    | 177    | △333    | 412    | +234                   |

※1 損害率、事業費率、コンバインド・レシオ算出における分母は既経過保険料

2017年度の事業費、事業費率、コンバインド・レシオは、買収時一時コストを特殊要因として控除した値を表示

※2 2017年度実績・組織再編に伴う税金費用減少等を含む

※3 2017年度の米税制改革の影響は+5億円程度(グループ連結ベース)、2018年度以降の影響は限定的

(参考) 商業保険既経過保険料の認識タイミング(季節性イメージ)

1Q: 10~15% 2Q: 25~30% 3Q: 30~35% 4Q: 25~30%

---

1. 連結業績

---

2. 国内損保事業

---

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

---

6. ERM・資産運用

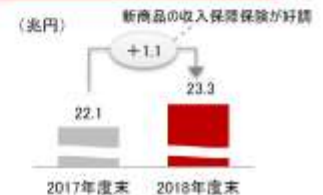
- ◆ 保険料等収入の拡大等により、2018年度の経常利益・当期純利益ともに増益
- ◆ 2019年度も引き続き保有契約が拡大し、当期純利益は+6億円増益の160億円を見込む

主要業績

| (単位:億円)              | 2017年度 | 2018年度 | 増減            | 2019年度 |     |
|----------------------|--------|--------|---------------|--------|-----|
|                      |        |        |               | (予想)   | 増減  |
| 新契約年換算保険料            | 358    | 370    | +12 (+3.4%)   | 350    | △20 |
| (うち収入保障保険)           | 25     | 75     | +50 (+201.8%) | -      | -   |
| 保険料等収入 <sup>※1</sup> | 4,384  | 4,444  | +59 (+1.4%)   | 4,533  | +89 |
| 保険金等支払               | 671    | 679    | +8 (+1.3%)    | 708    | +28 |
| 事業費                  | 955    | 932    | △23 (△2.4%)   | 982    | +50 |
| 資産運用損益               | 450    | 451    | +0 (+0.2%)    | 455    | +4  |
| (うち一般勘定)             | 435    | 447    | +11 (+2.7%)   | 451    | +4  |
| 基礎利益                 | 175    | 278    | +102 (+58.3%) | 298    | +17 |
| 経常利益 <sup>※1</sup>   | 167    | 265    | +98 (+59.0%)  | 278    | +12 |
| 当期純利益                | 81     | 153    | +72 (+89.8%)  | 160    | +6  |
| 修正利益                 | 292    | 328    | +36 (+12.6%)  | 340    | +11 |

※1 法令に則った生命保険会社の様式に基づく数値(連結様式とは異なる)

(参考)保有契約高<sup>※2</sup>



(参考)保有契約年換算保険料<sup>※2</sup>



※2 個人保険と個人年金保険の合計  
※3 うち保障性商品+65億円

- ひまわり生命です。
- 2018年4月に発売した新収入保障保険をはじめとして、保険料等収入が着実に拡大したことに加え、責任準備金負担の減少によるプラス効果などもあり、当期純利益は前年比+72億円増益の153億円と、通期予想を上回りました。
- 2019年度は12億円の経常増益、純利益は6億円増益の160億円を見込みます。引き続き、保険料等収入が堅調に増加することなどが主因です。
- 次のページに、ひまわり生命の当期純利益の増減要因を、修正利益に関する補足を37ページに掲載しました。また、別途詳細が開示されておりますMCEVに関しては38ページに、概要をお示ししましたので、後ほどご確認いただければと思います。
- 40ページをご覧ください。

- ◆ 2018年度は、保有契約の拡大や責任準備金繰入負担の減少などにより増益
- ◆ 2019年度は、保険料等収入の拡大を主に増益を見込む

当期純利益の増減要因(2018年度実績)

当期純利益の増減要因(2019年度予想)



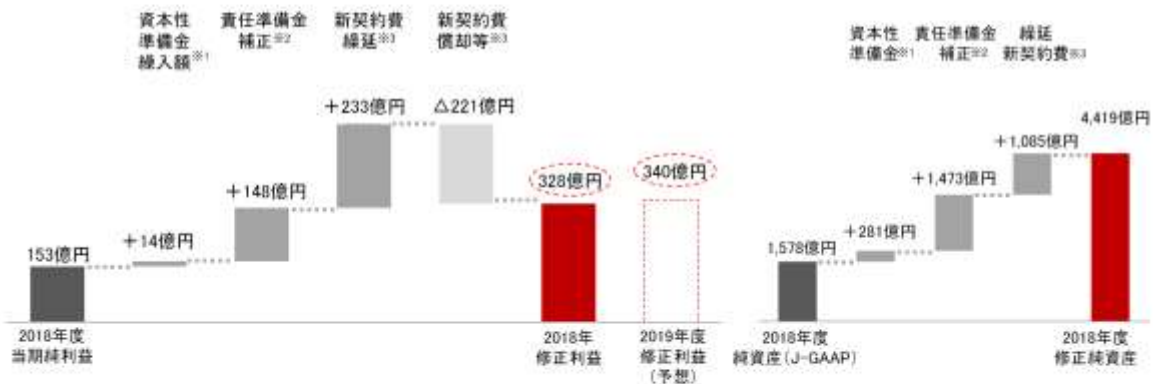
|          | ①保険料等収入 | ②責任準備金繰入等 | ③保険金等支払 | ④事業費   | ⑤資産運用損益(一般勘定) | ⑥その他   | 当期純利益 |
|----------|---------|-----------|---------|--------|---------------|--------|-------|
| 2017年度実績 | 4,384億円 | △3,011億円  | △671億円  | △955億円 | 435億円         | △100億円 | 81億円  |
| 2018年度実績 | 4,444億円 | △2,984億円  | △679億円  | △932億円 | 447億円         | △140億円 | 153億円 |
| 2019年度予想 | 4,533億円 | △2,992億円  | △708億円  | △982億円 | 451億円         | △141億円 | 160億円 |

※1 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定の資産運用損益を含む  
 ※2 保険金備金(除く満期保険金備金)、給付金備金(除く生存給付金備金)繰入取崩影響を含む  
 ※3 その他経常費用、特別損益、契約者配当準備金繰入、法人税等の合計

- ◆ 2018年度の修正利益は328億円と、保有拡大・事業費効率化などにより、期初計画(320億円)を上回る
- ◆ 2019年度も保険料等収入の拡大により、修正利益は+11億円増益の340億円を見込む

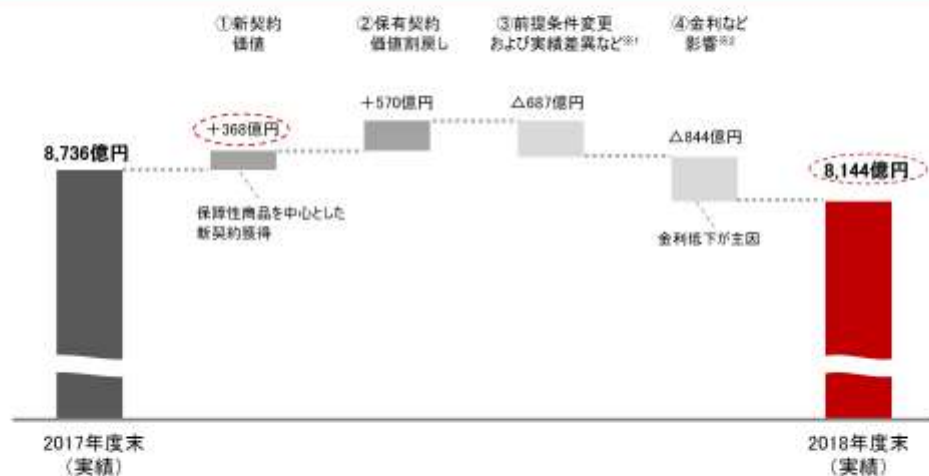
当期純利益から修正利益へのコンバージョン

(参考)修正純資産



※1 危険準備金、価格変動準備金(税引後)  
 ※2 保守的に計算している責任準備金を保険料計算に用いる基礎率により再計算(税引後)  
 ※3 契約初年度に発生する募集手数料等の新契約費を10年間で償却(税引後)

MCEVの増減要因



※1 解約率の前提条件変更など  
 ※2 配当支払を含む

---

1. 連結業績

---

2. 国内損保事業

---

3. 海外保険事業

---

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用



◆ 入居率は引き続き改善、介護事業の修正利益は+10億円増益

介護事業(SOMPOケア<sup>※1</sup>)の業績

| (単位:億円)           | 2018年度 |        | 2019年度<br>(予想) |
|-------------------|--------|--------|----------------|
|                   | (実績)   | (増減)   |                |
| 売上高               | 1,241  | +45    | 1,274          |
| 修正利益              | 40     | +10    | 43             |
| 入居率 <sup>※2</sup> |        |        |                |
| (そんぽの家)           | 92.1%  | +0.4pt | 93.2%          |
| (そんぽの家S)          | 93.4%  | +3.3pt | 93.3%          |
| (ラヴィーレ)           | 87.6%  | +2.3pt | 90.0%          |
| 在宅利用者数(人)         | 48,645 | +2,661 | —              |

介護・ヘルスケア事業等<sup>※3</sup>の修正利益

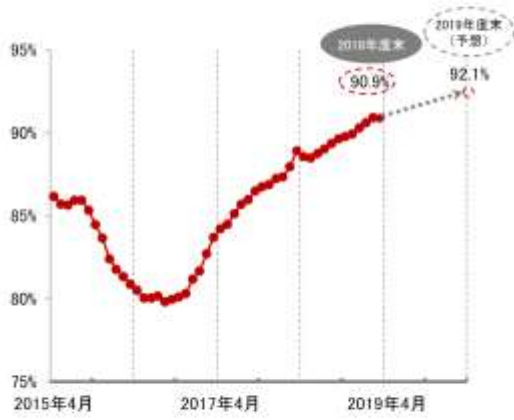


※1 2018年7月に旧SOMPOケア・旧SOMPOケアネクストが合併  
 ※2 入居率 = 入居者数 ÷ 施設定員数  
 なお、そんぽの家は旧SOMPOケアの介護付きホーム、  
 そんぽの家Sは同社のサービス付き高齢者向け住宅、  
 ラヴィーレは旧SOMPOケアネクストの介護付きホームを示すブランド名

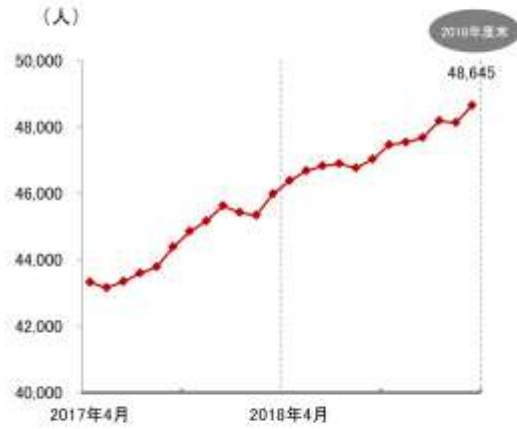
※3 介護・ヘルスケア事業等は、SOMPOケア、アセットマネジメントなどの合計

- 介護・ヘルスケア事業です。
- 介護事業の主要指標である入居率が、順調に改善したことなどを主因に、2018年度の介護事業の修正利益は前年比+10億円増益の40億円となり、2018年11月にお示しした通期予想の水準を上回りました。
- 2019年度は、入居率のさらなる改善を主因に、修正利益の増益を見込んでいます。
- 入居率などのトレンドは、41ページに掲載していますので、後ほどご覧ください。43ページをご覧ください。

## 入居率\*の推移



## 在宅利用者数の推移



\* 旧SOMPOケア・旧SOMPOケアネクストの入居率を統合して記載

---

1. 連結業績

---

2. 国内損保事業

---

3. 海外保険事業

---

4. 国内生保事業

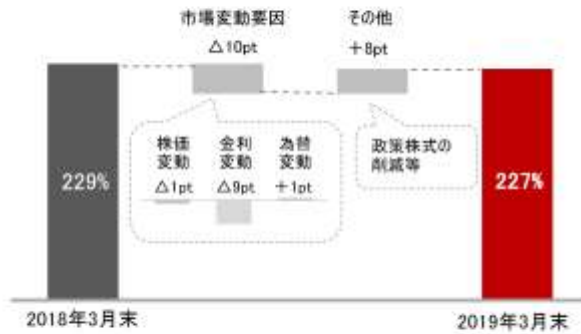
---

5. 介護・ヘルスケア事業等

---

6. ERM・資産運用

◆ 2019年3月末のESR(99.5%VaR)は、227%とターゲット資本水準を維持

ESR(99.5%VaR)<sup>※1</sup>の推移

※1 リルベンシー II に準拠した算出方法

※2 ESR(99.5%VaR)におけるターゲット資本水準は、概ね180%~250%

250%水準: 資本効率(ROE)の観点を踏まえた水準

180%水準: ストレステストの結果などを踏まえ、

財務健全性を安定的に確保可能な水準

恒常的にターゲットレンジ外の水準となる場合の代表的な対応

- 【250%超】追加的リスクテイク(成長投資機会)の検討、自己株式取得等による株主還元拡充など
- 【180%未満】各種リスク削減策の実施、ハイブリッド債等による資本増強の検討、内部留保強化など

## ESR(99.5%VaR)の感応度分析



(参考)市場環境

| (参考)市場環境        | 2019年3月末 | (増減 <sup>※3</sup> )      |
|-----------------|----------|--------------------------|
| 国内株価(日経平均株価)    | 21,205円  | ( $\Delta 1.2\%$ )       |
| 国内金利(30年物国債利回り) | 0.51%    | ( $\Delta 24\text{bp}$ ) |
| 米国金利            | 2.41%    | ( $\Delta 33\text{bp}$ ) |
| 為替(米ドル円レート)     | 110.99円  | (+4.5%)                  |

※3 2018年3月末対比

43

● ESRです。

● 金利低下の影響を受けたものの、政策株式の削減加速などもあり、

2018年度末のESRは2017年度末と概ね同水準です。

引き続き、健全性に問題はありません。

44ページに実質自己資本とリスク量のブレイクダウンを掲載しておりますので、後ほどご覧ください。

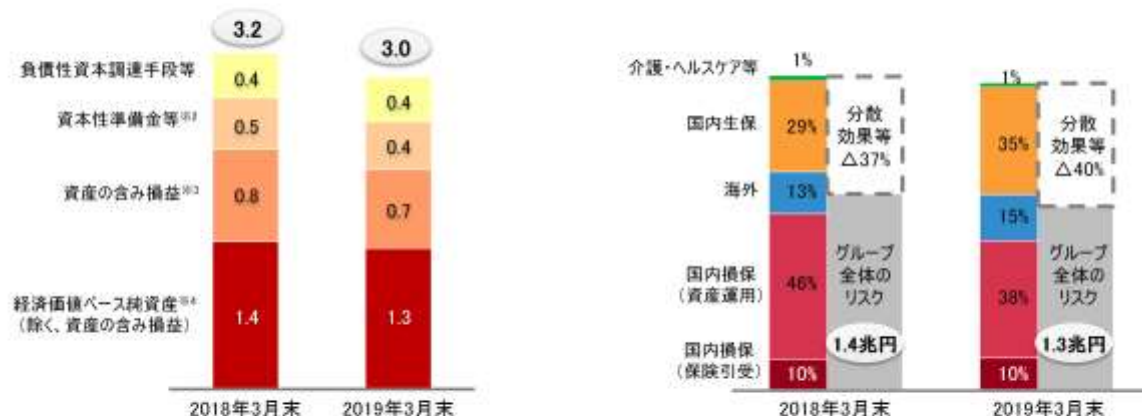
45ページをご覧ください。

## (参考)実質自己資本・リスク量のブレイクダウン

実質自己資本※1

リスク量※5

(兆円)



※1 実質自己資本＝単体BS純資産合計額＋保有契約価値－のれん等＋時価評価しない資産の含み損益＋資本性準備金等＋負債性資本調達手段等

※2 価格変動準備金、異常危険準備金など(税引後)

※3 時価評価しない資産を含めた有価証券等の含み損益

※4 単体BS純資産合計額に生損保の保有契約価値などを加算(のれんや非支配株主持分等は控除)

※5 リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計算

事業毎のリスク量：事業毎のリスク分散効果控除前(税引前)

グループ全体のリスク：事業毎のリスク量合計－分散効果－税効果

◆ 負債特性や流動性・安全性などを踏まえ、債券を中心とした安定的なポートフォリオを構築

運用資産額(2019年3月末 グループ連結ベース)



#### グループ会社別運用資産額

| (単位:億円)        | 運用資産額          | 構成比         |
|----------------|----------------|-------------|
| 損保ジャパン日本興亜     | 54,974         | 52.9%       |
| 海外グループ会社       | 14,590         | 14.0%       |
| (うちSI)         | (11,891)       | (11.4%)     |
| ひまわり生命(一般勘定)   | 32,686         | 31.5%       |
| セゾン自動車火災+そんぽ24 | 643            | 0.6%        |
| 国内その他          | 981            | 0.9%        |
| <b>合計</b>      | <b>103,876</b> | <b>100%</b> |

※ "その他"は土地・建物、非連結子会社株式など

45

- 最後に、グループベースの資産ポートフォリオです。  
次ページ以降に、損保ジャパン日本興亜、Sompoインターナショナルおよび、ひまわり生命の資産ポートフォリオを掲載しました。  
後ほどご確認いただければと思いますが、各社ともに、安全性重視のポートフォリオになっています。
- 以上で説明を終了させていただきます。

◆ 政策株式の削減、分散投資の推進を基本とするポートフォリオマネジメントを継続

運用資産額(2019年3月末 損保ジャパン日本興亜単体ベース)

【一般勘定】

(兆円)



インカム利回り(総合勘定)<sup>※1</sup>の推移



格付別構成比<sup>※2</sup>

| 社内格付   | 構成比  |
|--------|------|
| BBB格以上 | 100% |
| BB格以下  | 0%   |

※1 海外グループ会社株式等を除く  
 ※2 円金利資産、外貨建債券の合計

◆ ドル金利資産への投資をベースとしつつ、負債特性を踏まえ、流動性・安全性を重視した運用を継続

運用資産額(2018年12月末 SI連結ベース)



格付別構成比

| 格付     | 構成比 |
|--------|-----|
| BBB格以上 | 93% |
| BB格以下  | 7%  |

デュレーション(年)

|    | 2017年<br>12月末 | 2018年<br>12月末 |
|----|---------------|---------------|
| 資産 | 3.6           | 3.2           |
| 負債 | 2.9           | 2.9           |

(参考)2018年12月末のインカム利回り(一部ファンドの未実現損益等の変動を含む)は2.69%





### 将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

#### 【お問い合わせ先】



SOMPOホールディングス株式会社

経営企画部 IR・ファイナンス室

電話番号 : 03-3349-3913

email : [ir@sompo-hd.com](mailto:ir@sompo-hd.com)

URL : <https://www.sompo-hd.com/>